

Sugawara

○登場人物

会社員

わたなべつとむ

おもに梅王丸

いがみただあき

おもに松王丸

さいとうまつちゆ

おもに桜丸

ばんどうしんご

おもに春

とみながみずき

おもに千代

うえうらなほこ

おもに八重と武部源蔵

くまかわふみ

おもに小太郎

せきあゆみ

○台本表記の説明

・歌舞伎ことは太文字

・セリフ、ト書きに細かくニュアンスを込めています
が、台本説明の意味も込めていますので、なんとなく作品がわかってきたらアレンジしていただ
いていいです。

・セリフに(こんなかんじ)にカッコのある部分がある
ときがあります。細く、言わなかった&言えな
かったセリフって感じです。これも説明の一環で
す。

・体が主役で言葉は添え物、という持論で台本
を書いてます。セリフに引っ張られすぎないでく
ださい

横長の空間

○開始5分前

会社員がやってくる

会社員 えゝ本日は「菅原伝授手習鑑に関する
考察」にご来場いただきまして誠にあり
がとうございます

はじまりに先立ちましてゝ。お客様にい
くつかお願いがございますゝ。

本公演の上演時間はゝ 分を予定し
ております。途中休憩はございませんゝ。
お手洗いなどお済みでない方がいらっし
やいましたらあらかじめお済ませ下さい
ゝ。またゝケータイ電話、アラーム付き
腕時計などの音の出る電子機器はあら
かじめお切りくださいますようお願い申
し上げますゝ。

それでは、開始まで今しばらくお待ちく
ださいゝ。

○はじまり・賀の祝

桜丸舞台中央に座っている

梅王丸は桜丸の後方の変な位置に、会社員は梅王丸をよく見える位置に座っている

桜丸　こりや女房ども

我に代わって御礼な申し、死後の孝行頼むぞや。

下郎ながらも恥を知り、義の為に相果つる。

梅王丸がうつむいている。

桜丸が刀に手をかける。

会社員　……っ。

会社員はダンダンダンと床を殴る。

会社員　……。

会社員はじんわりと観客の様子を伺う。

会社員 ……あ！

会社員は立ち上がり、所在なくウロウロ

会社員 人を愛することに飢えていた僕は、この
作品に、出会いました

会社員はもぞもぞ身動きし、体勢をなおす。

会社員 ……いま！ご覧頂いたのは、歌舞伎三大
名作、菅原伝……

……あ、こんなバカそーな見た目でね歌
舞伎（を語るとか）……あれすけど……は
い……

……えーと。そー菅原伝授手習鑑、の
中でも上演回数が多い方、人気の演目
「賀の祝」の中のクライマックスの、
大きな……まあなん（というか）……もっ

たいねえな！って感じの事情から、この桜丸という登場人物が自殺。……切腹。をする場面で、俺はこの場面を見ると、

(なにかが)えぐられる

しかし

俺がえぐられるのはこの、桜丸に、ではなく、

会社員の指を合図に桜丸、立ち上がりあつ

さり退場

会社員は残った梅王丸を触る

会社員 こいつ。俺が愛しているのは、この子。

この子の名前を、梅王丸。といいます！

菅原伝授手習鑑の人気のカギを握る、

樹木の名前になぞらえた三つ子のキャラ

クター、梅王丸松王丸桜丸、のなかの

一番雑な扱いを受けているやつ。

いやめちやくちや梅王丸かわいんすよ？

……んえー。一挙手一投足、言葉の

数々、情けなくてみっともなく考えな
しなんすよ、馬鹿でアホで物語の都合で
させられてる謎の行動が多すぎて

俺がかばってやらずに誰がこいつを愛して
やるんだ、って感じ、っすねー

この場面も、こいつが何をしてると思いま
すか？

…：のれんの後ろに隠れてるんです、本
当は登場してない

なんで隠れるのか？の明確な理由は、描
かれていません

…：…っ

会社員は悶え苦しむ

会社員 じゃあ出てこよーよ…：…！目立とうよ歌

舞伎なんだから…：…！また見せ場を人
に（譲ることになっとるやん）

…：…か———…！

と。もどかしい——ん、です、が。

いや俺、今ふざけてるように見えるかもしれないすけど。イイ(のよ)！心から。んー。これは偏見すけど、んー。かわいいっつーか。不器用なんすよ。こいつがする謎の行動を改めて考えてみる……作品全部の中で改めて考えてみるとね？(作品自体が別の見え方を)

梅王丸はとぼとぼ去る。

会社員 ああ……！

会社員は梅王丸を追おうと動くが、ためらう。

会社員 あ！

そして、うん。

なぜみなさんがここに集められたか！

俺！皆さんに梅ちゃんの魅力を植え付けるためにこの時間を用意しまして

(10年寿命を削る契約を悪魔とした)
なにをするかといいます、と！

これからこの「菅原伝授手習鑑」を独自の視点で横切って、旅行にいくように物語に触れて人物に触る。それにお付き合い頂きたくて

……どすか。ね。や——。バカが偏見で歌舞伎にさわるわけですが——。騙されたと思ってみて是非。

……う——ん。

……やってみますね？

………

観客をうかがう目。

会社員

……やってみますね！

「スウって息吸う」

すあ————。俺の偏見だらけの歌舞伎旅行。大歌舞伎ならぬ小歌舞伎。イヤホンガイド歌舞伎の幕開け

幕開け——と相成ります——。

おらっ！

足で床を踏みつける。

幕が閉じる

幕が開く

○表紙

漠然と「歌舞伎の世界は楽しいんだぞ」的な
風景が広がる

○目次

社員が社内プレゼンのように、パワーポイントのネタを駆使し、菅原伝授手習鑑の独断
の見解を披露

社員

え————。これは、昔の物語。

ひじょ————に事情が入り組んだ物

語のようで。大枠はざっくりこう。

「菅原道真と藤原時平」説明投影

会社員

平安時代に菅原道真っていう、のちに雷になる男がいます。こいつのあだ名は菅丞相！もーあだ名でいいです、あだ名で。

その菅丞相というやつと藤原時平というやつのはつぽつぽつでバツチバチな壮絶バトル。と、それに振り回された下々の人々の悲しみが折り重なる運命のストーリー。なんです、が！

「演目」説明投影

会社員

これ。これらすべてのお話が、無駄がなくて。伏線たるあけ。はいはい流石名作でございますわなと。

でもはい、梅ちゃんに關係ある場面は

会社員足踏み

梅王丸の登場していない演目が消去される

会社員 この場面だけだー！

んー……。他の場面は俺はざっくりしか知らないので、きちんと知りたい方は東銀座とかの着物の人を捕まえて聞いてくださあーい

あ！しかし、あー……。寺子屋か。寺子屋はね。菅原伝授手習鑑のなかで一番人気の演目なので。はずせないか。そうですね。

「寺子屋」の文字が再び登場。

会社員 (舌打ちの後小声で)寺子屋ばかり…

あ！

ちなみに、これは平安時代の物語なのに、寺子屋。平安時代に寺子屋なんてねー

ぜえ？って話なんです。ここがオモロ
ポイント。歌舞伎というものはかなり乱
暴な世界観なわけですね。このく
らーーーーーーーーーいさ

○ふざけた寺子屋

みんな走り出る。

現代っぽいアイテム(ケータイなど)と江戸っぽ
いのアイテム(だるまなど)をそれぞれ持つ。

斉藤 時はっ

全員 平安時代！

関 とつてんこー寺子屋はじまるよー

全員 おはよーございまーす！

熊川 はい手習いの授業の前にいー！昨日の授
業中にインスタグラムの更新をした人が
いること相違なしじゃー！ぼるあー！

坂東 おーーーーいーーーーまことかよおー

富永 あなやーネットリテラシーの低ういー！

植浦 てやんでいだねー！

坂東 てかうっわー！今スポッチャ馳せ参じてー

全員 はせさんじたー！ーい

斉藤 すいあっせーん遅刻しましたーむねーん

熊川 てめーふざけんな寺子屋にキックボード
持ってくるなってあれほど言ってんだろボ
ルアーーーー！

寺子屋の生徒蜘蛛の子散らすように去る

会社員 乱暴だぜえ？

だあらもー歌舞伎っていうのはまじでお
おらかに昔の時代の話に、自分の時代の
常識をぶち込んでくるぜえ？これが歌舞
伎ならではのおおらかさだぜえ？

ふっ。登場人物を教えてあげんぜ

「登場人物」説明投影

○登場人物表

会社員 はい！

主な登場人物。こーちら。

雷になる男、菅丞相かんしよつじやうまたの名を菅原道真。梅ちゃんが尊敬してる人よ。

100%悪役、藤原時平ふじわらのしへい。菅丞相の敵なので梅ちゃんの敵。しすべし

時の帝、醍醐天皇

帝の弟、斉世親王

菅丞相が養子でもらった娘、苅屋姫
習字がうまいね武部源蔵。

習字がうまいね武部源蔵の嫁、戸浪。

もうすぐ70白太夫。梅ちゃんのオヤジ。

そしてまっけたぜ。3つ子！とその嫁！
そう3つ子。白太夫は百姓。なので本来百姓なんですが、3人は3つ子に生まれて誉れ高いつて理由で、舎人って
いう仕事に抜擢されました。武士に

なっただって事ね。

APPAREILとおもいきや運命はいた
ずらなものでして

「梅松桜の家族の相関図」説明投影

梅松桜とその嫁と小太郎が登場

会社員 菅丞相の舎人に梅王丸。藤原時平の
舎人に松王丸。齊世親王の舎人に桜
丸。それぞれの嫁の春、千代、八重、と
息子の小太郎で。

梅松桜とその嫁たちと小太郎は家族写真を
撮るように、会社員を囲み、停止

会社員 で、これが、大変

この松王丸、100パーセント悪役「藤原
時平」のところに仕えていますでしょう？

揉め事の匂いしかしないじゃないですか。そ
う、揉めるよ！

この作者はね、まぎれもなく、鬼

○梅松桜とその嫁と小太郎の日常

梅王丸が会社員をつかむ。

梅王丸　おい親父！

会社員　えっ！？

梅王丸　なにそんなところで若者みたいにくっちゃべってんだよ

会社員　……ん？

梅王丸　なに他人みたいな顔してんだ。

会社員　……。

梅王丸　親父……！？まさかぼけたのか。ぼけたのか……！

松王丸　……もうすぐ70だぜ無理もねーよ。

梅王丸　親父！俺だよ？梅王丸。うめおおま
るだよ！？

会社員　……はい。

梅王丸　あ。覚えてる！？じゃあこれは！？

会社員 えっと、

梅王丸 俺の嫁！はるちゃん！はーるちゃん！

春 やめようよ。お父さん疲れてるんだよ
きつと。

梅王丸 うるさいうるしやい。なあ！これは？！

会社員 ……さ

梅王丸 そうだよ桜丸！そうそうそう！わかつ
てんじゃん！これは

会社員 ま

梅王丸 そう松王丸！これは松王丸の嫁
の！？千代と息子の小太郎だね！？

松王丸 お前まじでよく喋るよな。

梅王丸 オイ小太郎！ごあいさつしろ！

てかおまえ、でっかいな……。まあ！小
太郎！

小太郎 ……。

千代 小太郎。嫌だろうけど挨拶しなさい
…。

小太郎 こ！た！ろう！です！

梅王丸 親父。これでも思い出せないのか

よ！？おやじい！俺たち三つ子で生まれて誉れ高いつつって百姓の子だったのに菅丞相様のご好意でそれぞれ俺、菅丞相様、桜丸、斎世親王さま、松王、藤原時平、さま、の舎人ー…
…まあ付き人？牛車係ぎししや？的なことだよ！武士だよ、武士武士、武士になれて親父もうれしーうれしーうれしよん

松王丸 お前うるせえよ。まじで。

梅王丸 ……ああ？

松王丸 なげーんだよ。話が。てか親父には親父のペースがあるだろうが

梅王丸 ……老人のペースに合わせてたらいけねえときだってあんだよ…！！？

松王丸 ハッ

梅王丸 あんだよ

松王丸 上司が上司なら部下も部下だ、な！

梅王丸 お前それまじで言ってるのか…！！？

松王丸 ……言ってるわけねーだろ冗談だよわ

かれよそのくらい……!!??

桜丸 コレコレコレコレ

松王丸 ……あ？

桜丸 さようないさかい、お止めなされ。

それはさておき親父殿。これにおける
は八重と申して私の女房お忘れあ
りしか

松王丸 おまえ、なんだよその喋り方。

桜丸 ……。

梅王丸 話し方なげーよ

桜丸 うじむし

梅王丸 (同時)てめえなにキレてんだよ……？

松王丸 (同時)てめえなにキレてんだよ……？

桜丸 ああ！？この喋りかたの方が武士ら
しい感じがしてかっこいいから俺ら
とこれでいこうって話しただろーが。こ
ないだ！

松王丸 それはとても難しくてすごく練習がい
る事だから大事な場面だけにしよう
ぜって話になったんだよ！お前がいな

い間に！

梅王丸 てかおまえ…めちやめちやうまいな！

桜丸 兩人ともになんのたわごと、あれほ

ど習い覚えしに！

八重 ……(桜丸の服の裾を引く)

桜丸 なんだよ！

八重 けんかやめろい

桜丸 ぴやえちゃんは今黙っててくれよな

八重 ぴやつ！えちゃんって人前で言うのやめ

てっていつてるでしょお！？

桜丸 あ。ちがう、いまごめ、あ

松王丸 おいお前ら、いちやついてんじゃねーよ。

いてこまずよ。

桜丸 ……っ！

松王丸 な、んだよ。

桜丸 たとえこの身が朽ち果てようと

おれはこの方針を！

曲げるつもりはござりませぬ

桜丸は踵を返し、去る

梅王丸 あいつ可愛いけど面倒くさいんだよな

八重 まってよう！……もー勝手に、すいま

せえん。まってよう！

八重去る

春 ふあゝうらやましいーねー！なんかあ

梅王丸 えーそーかー？

松王丸 お前んところは嫁も独特なんだな

松王丸は梅王丸夫婦に巻き込まれて去る

小太郎 こ！た！ろう！です

千代 小太郎もうやめなさい

千代と小太郎去る。

会社員が家族に混ざった余韻に震えている。

会社員

……えっと。

あ！

ここまでが俺の目から見た話の大枠と、登場人物でした。

では——本編の説明に移り

あ！

……あ。あ——……。

そのまえに先に言っておきますと。ね——。

この話は、悲劇です。

最初が一番幸せな物語です。あの幸せな関係性が崩れていくのをあ——あ——あ——って、楽しく眺める話で。

……そういう、所は、俺はあんまり好きじゃなくて

……ん——そんな俺の偏見が強いかもしれないん(ですよごめんなさい)

……うん。はは。

んえ————！

物語を序盤から！

○加茂堤

会社員 たしか、物語のはじまりは、加茂堤って
場所で――。

会社員 ふんわり足踏み

足踏みをきっかけに場面が様変わり

川が背景に見える。

梅王丸と松王丸は肩を組んでいる

梅王丸 お前どっかいけよ

松王丸 お前がどっか行け

梅王丸 ああ？俺はここで待ってないといけな
んだよ！そういう役目なの！

松王丸 そんなんゆーたら俺もだつーの。

梅王丸 なんだよう！つれないこというなよう！

松王丸 なんだよそれ気持ち悪いな

梅王丸 ……ああ？気持ち悪いってお前本気で
思ってるのか

松王丸 本気で思ってたらお前と何年も三つ

子やってねえだろ

梅と松
へへへへへ

梅王丸
てか。あ。どーする。派手にいこうぜ！

松王丸
あにがだよ

梅王丸
賀の祝いだよ。親父の。70の記念の！ちゃんちゃんことか着せよーぜ、赤いやつ

松王丸
はー？それ還暦だよ10年少ねえよ。

梅王丸
わけ！わかんねーこと！言ってるじゃ

ねーよ！！！！

桜丸登場

梅松桜
あ。

松王丸
桜丸。お前なんでここにいんの。

桜丸
……。

梅王丸
ああ、わかった！

松王丸
お前もここで

梅松会社員
あーぶーらーを

会社員
売っていたわけではなかったんすねー

梅王丸、松王丸去る

会社員　　じゃーどーして桜丸がここに

いるのかとゆーと。桜丸は加茂堤で

ひじょーにバレるとやばめの

特命をしょっていたわけでした

○加茂堤く東天紅をダイジェストでお送り

会社員　　実はこの加茂堤、すごい人が今隠れ

ていまして。ひとりめが醍醐天皇の弟。

中立の立場におわしますー

齋世　　齋世親王です！

会社員　　もうひとりが菅丞相が養子でもらっ

た娘の

苅屋姫　　苅屋姫なのっ！

会社員

この2人が木陰に隠れていたわけ、です、な。この2人、揃ったらいけない組み合わせなんですね――。

なんでかとうゅーと菅丞相と藤原時平がバツチバチにもめていたからで。帝の弟と菅丞相の娘が一緒にいたよ――となると

時平

えーなにそれなにそれ、あー！この藤原時平わかつちやつたぞー！菅丞相さんが――娘の色仕掛けとゆー汚い手を使って、国を乗っ取ろうとしていますよー！

会社員

とかいいだしたら嫌だなー……と頭をかすめながらも

苅屋姫

苅屋姫は、苅屋姫は、斎世親王さまと恋がしたいのです。……このままだと片思いで死ぬと思う。うわあああああ
と泣きついて泣きついて泣きついて、や
つとこの日が実現したつちゅーわけで。

会社員

かくしてふたり。出会う。カップル成

立。

申を閉じれば、億千の星。一番光るお前が
いる。はじめて一途になれたよ？夜
空へ響け愛の歌。

そーんなカップルズを引き合わせたのは、

桜丸 女房どもたまらぬたまらぬ

八重 んもーなにいつてんのー？

会社員 そーー桜丸とその嫁の八重。

さてキューピットって、あれですよ

桜丸 女房どもたまらぬたまらぬ

八重 んもー。だから、なにいつてんのー？

桜丸と八重はお互いの体を小突く

ふたり、幸せそうに笑う

八重 なんか嬉しい。あたしも。

会社員 そのまま円満に解散できればよかったん

だけでも

三善 へいへいへいへいへい！

八重 えっ

三善 俺は藤原時平さまの第一の手下、三善

清貫様きよつらダゼ！その牛車の中、怪しいなあ！誰かと誰かが入ってるんじゃないか？
のお！？

齋世 ……あなや！

会社員 と。この事件を皮切りに、運命がおにぎりみたい坂道を転がり落ちていく。ころりんころりんころりと

時平 あ——！この藤原時平わかつちやつてますよもうすでに——！菅丞相さんは——！娘の色仕掛けとゆるい手を使って、国を乗っ取ろうとしました——！

菅丞相、官位剥奪の上で筑紫の国へ流罪すべきと進言いたしま——！
あ——！才学知徳備わった素晴らしいお人も一皮むけばゲスの極みだ！なあ！
松王丸！お前もそう思うよなあ！

松王丸 ……はい。

時平、松王丸去る

齋世親王、苅屋姫、桜丸のみがいる

齋世 苅屋姫

苅屋姫 齋世親王さま

齋世 こうなってしまったては、一緒にはいられない。さようなら。

齋世親王去る。

苅屋姫 ……片思いのまま死んでいればよかったです。そうすればお父様にこんな迷惑をかけないで。……ああ。死んでいればよかった。

桜丸 ……。

苅屋姫、桜丸を残して去る。

桜丸、佇んだのちに、早足で去る。

会社員 と、こんな感じに苦い立場に立たされた
松王丸桜丸とは打って変わり、梅ちゃん

はこのとき大忙し！

梅王丸登場、忙しいぞなポーズ

会社員　そしてここは、いま一番立場があやふや
な男、菅丞相、の家の門の―――なか

○菅丞相の家の門の前

門の前に梅王丸と菅秀才が立っている

会社員　梅ちゃんは、梅ちゃんのご主人である菅
丞相、の息子の菅秀才と一緒にいて

梅王丸　ササ、ご幼少の御若君様、こちらへ召
されてくださありいまあせえ(…武士ら
しいってこういうことかな?)

菅秀才　…(こやつなんと申しているのか)?

梅王丸　いざ、菅秀才様の御お命、この梅王
丸におまかせああれえ

菅秀才　…(こやつはなんと申しているのか)?

梅王丸 ……ええと、菅秀才さま。いま。んー。俺にも全部はわかんないんですけど。なんか。悪い奴のたくらみでね、大変なことになった。的状況です。ここにいと危ない。どっか、安全な所に逃げましょう

菅秀才 ……(こやつ判断あってんのかな?)

梅王丸 ……さ。

菅秀才 ……(なんか信じがたい)

梅王丸 ……ん。

会社員 こまっちゃってる梅王丸に助け舟

源蔵 その役目、引き受けた

梅王丸 うわあ！だれだあ！

(同時)門の外に！

会社員 (同時)門の外に！

いるのは――――！

武部源蔵登場。

会社員 習字がうまいね武部源蔵。梅ちゃんと
同じ菅丞相の味方。で、なんというかま

ー。さまざまさまさま(ある)……、オフィ
スラブは！ご法度の時代(とかそういう)、
さまざまさまさま(説明が多い)……。

……うん！いまは寺子屋を営んでいる

梅王丸 はっ！武部源蔵：殿！なぜここに

源蔵 そんな事はいまはどうだっていい。さあ、
菅丞相様のご嫡男であらせられる菅秀
才様、ぜひ俺に預らせてくれ

梅王丸 え。いや。ダメダ！菅秀才様は命を狙わ
れるかもしれないんだ(ぞ)

源蔵 まあ聞け。もし仮にそうだとして。俺の
営む寺子屋には菅秀才様くらいの歳の
子がうじゃうじゃ、
木を隠すなら！？

梅王丸 ……森………！

源蔵 さあ、菅秀才様をこちらへ

梅王丸 え。でも、も、門………！

源蔵 さあ！

梅王丸 ……っ。

源蔵 (同時)さあ、……サアサアサア！

門 (同時) さあ、……サアサアサア！

梅王丸 ……っ。

会社員 梅ちゃんの選んだベストアンサーは、

梅王丸は菅秀才をつかむ。

会社員 菅秀才をトスで門の外へ出すこと。

……いやもーちよつとあつたる……！

か……！ばか……♡

門の片側には梅王丸は一人。

もう片側には武部源蔵と、少し具合が悪そ

うな菅秀才がいる

源蔵 ……う、うん！なにはともあれ。菅秀才様。お預かり申す。

梅王丸 菅秀才様のこと、まじでよろしく頼んだ

ぞ。まじのがちだ。

源蔵 ああ。

梅王丸 がちだ。

源蔵 ……菅丞相様と、御台様を、頼んだぞ

梅王丸 ……：…：…：心得た！

会社員 ……んー。

門、源蔵、菅秀才去る。

会社員 ……菅丞相の流罪が決まった。菅丞相

はいまの九州に行く。梅王丸は都のある

京都に残るように命令される

園生の前は行方不明になりました。

梅王丸は、事実上、クビ同然。

梅ちゃんの心得たは、嘘になった。

幕が閉じる

○車引

おじさん　　いい神社だな……。

桜丸と梅王丸が遭遇

梅王丸　　おおおおおお。桜丸！

桜丸　　……。

梅王丸　　おお。なに。……なんかお前、すっかり
武士っぽい佇まいじゃんか。……え。で
も。

桜丸　　……話す事あり。

梅王丸　　……聞く事あり！

え。いまは。なにがどうなってるの。加
茂堤で苅屋姫さまのあとを追った後
に、八重ちゃんは、んー

桜丸　　いかにも道にて追いつき奉り、丞相
様御流罪と聞くより、安居の岸ま
で御供せしに、御対面叶わず、御
帰洛願いの妨げと、御二方の御縁
も切れ、姫君にはハジの里、御伯母

君の方へお出であり。又齊世様には御所へ供奉し奉り、事納まりしとは言いながら、納まらぬは我が身の上。賤しい身にて恋の取持、遂には御身の仇となり、丞相様流罪にならせ給いしも、皆この桜丸がなす業と、今日や切腹明日には命を捨てうかと、思い詰めは詰めたれど、佐太におわする一人の親人、今年七十の賀の祝い、兄弟三人嫁三人、並べて見んと当春より、喜び勇みおわするに、我一人欠くるなら。不忠の上に重なる不孝。詮なき命、今日までも永らえる面目なさ、推量あれや梅王丸

梅王丸

……なんだよー。心配するじゃん。

まだ最悪じゃねーよ。明るく行こうぜ。

な！

俺も。うん。菅丞相様が筑紫国に旅

立たれて。んー。胸がゴワゴワって
してるよ。無力は、ゴワっとするんだ
な。

今はやるべき事考えてる。俺、やはり
行ったほうがいいかも。筑紫の国に。あ、
賀の祝いが終わったら。親父の70の。
楽しみにしてたもんね。すごく。親父。
うん。……ゴワゴワって。うん。…な。

悪い奴ら登場

悪い奴 ぼらああああああ！道開けろおお

おおおお

悪い奴は、梅王丸にわりとがつつり蹴りを入
れる

梅王丸 うわ、なんだよお前ら

悪い奴1 てめーなんか道塞ぐのが許されねえ
くらい偉い人が通るから道開けろっつ

ってんだよ

梅王丸　それは誰だよ

悪い奴2　ああ？宇宙より尊い偉さがビルゲイツの左大臣、藤原時平さまだよ！

梅王丸　……藤原時平……！？どこにいる

悪い奴2　あ、なんだよ待てよ

悪い奴1　てめーなんかが御目通り願えるお人じゃねえぞ

梅王丸　知らねーよ！そんなの！

梅王丸は地団駄を踏む。

悪い奴らはスン、として退散

梅王丸　……地獄だ。この世は地獄だ桜丸！

桜丸、ついてこい。おれ、何か言ってる。むしろ、殴る！なぐる！

梅王丸と桜丸、舞台裏へ袖を經由して奔走

会社員　ん————。しかし、何かを言ってや

ることも殴ることも、できや——せ
ずだったの。藤原時平には魔力でもあ
るのかないのか。時平に睨まれると何
も言えなっちゃうのはなぜだろうか
か。あー。

時平が人間だとありえない位置から登場

時平

むしけらども。松王丸の顔に免じて今
回は殺さないの刑に処す！本来だ
つたら車でひき殺すしー内臓を潰して
遊ぶしー！でも汚い濁ったお前らの血
はバッチいし価値が低うーい！

弱者。みじめな弱者。吠え面しかか
ない。かわいそう。

(一番不愉快に聞こえる悲鳴)

ははは

時平去る。

松王丸と梅王丸と桜丸が立っている。

梅王丸 ……おまえさあ

松王丸 ……。

沈黙の中松王丸と梅王丸が睨み合っている。

桜丸が去る。

○賀の祝い・喧嘩

梅王丸、松王丸、春、千代が祝いの装い

春 さー！桜丸くんと八重ちゃんが

来たら、待ちに待った賀の祝いの始
まりだよー！…。おい。

梅王丸 お前の顔見ると虫酸が走る

千代 ……桜丸くんと八重ちゃんおそいね。

松王丸 ……お仕事がなくなると、心が荒んで

大変だね？

千代 ねえ。やめて

梅王丸 裏切り者。

春
やめてえ

松王丸
……裏切り者って？

梅王丸
そのままの意味だよ

松王丸
…裏切り者ってなんだよ。

梅王丸
お前は、菅丞相様になんの愛情もないんだな？！

春
ねえ！今日はやめよう？お父さんの70歳のお祝いだよ？

梅王丸
俺さ！決めたから。この賀の祝いが終わったら菅丞相さまを追いかけて、筑紫の国に行く

松王丸
……それは誰が求めているの？

千代
ねえいい加減にして

梅王丸
いいんだよ。とにかくいくんだよ

松王丸
……お前って、なんでそんなにバカなの？

梅王丸
どうせ俺はバカだよ、でも

松王丸
俺さ。この賀の祝いが終わったらお前らと縁を切るわ。決めた。つーか今日は、縁を切りに来た

梅王丸 ……親父が楽しみにしてた賀の祝いの

日になんでそういう「こ」と言うの？

松王丸 は——？バカと無能とおいぼれと、家

族でいる自分が嫌になったからかな！

梅王丸 ……お前、本気で言ってるの？

松王丸 ……俺が本気で言ってるってなんで

(思えるの?)

梅王丸 バ——————カ！

松王丸 ……この流れでバカしか言えないなら、

お前は一生バカのままでもいいろ！くそが！

梅、松は取っ組み合いの喧嘩

梅王丸 役目がねーんだよこっちは

松王丸 知らねえよ、そんなの自分で探せ

梅王丸 みちが…みちが！

松王丸 みちみちうるせーんだよ

梅王丸 なにしていいかわかんねーんだよ

松王丸 てか、俺が、本気で

梅王丸 聞けよ

会社員　この喧嘩の場面は！

梅と松、もつれあつて倒れる。

会社員　歌舞伎だとコミカルな場面です。

んー。本人たちが本気だったり必死だつたりするほど他人にも滑稽に見えるのかなんなのか。けど、俺の目にはこう映つたまま変わらない。

そして！取っ組み合いの喧嘩のなかで、桜の枝が折れた。

会社員桜の枝を折り、手を離す。

梅王丸と春以外去る。

梅王丸　あ。

梅王丸は桜の枝を拾う。春が隣にいる。

会社員　木の枝が折れた。それだけのことでそれ

に意味なんてなくて。

でも、また運が悪いなー……。今日のこの日に、家に3本ある梅松桜の木の中で、強いて言えば、桜の枝だけ折ってはいけなかった。

このとき、桜丸は奥にいた。

幕が開く

桜丸、正座している。

会社員 奥で覚悟を固めてた

なんの？切腹の。桜丸はもう直ぐ、主人の、苅屋姫の、菅丞相の、不幸せを招いた自分を戒めるために切腹をするんす。

八重、桜丸の隣に座って泣いてる。

会社員、植浦から切腹道具をもらい、白太夫の位置に

梅王丸、冒頭シーンの隠れていた位置とぼとぼ。春が隣にいる。

会社員

もうすぐ70白太夫は桜丸の切腹を反対して「おみくじさまおみくじさま、桜

丸は切腹すべきじゃろうか」「……ああ。

……アア。家に帰ろうかのう」「あ、桜の枝が折れた、これは何かのシグナルじゃ——」

人はストーリーに弱い！

そして、桜丸は、死ぬ。

八重

ねえおとうさん

会社員

……。

八重

そんなところでたつてないで、一緒に止めて。……だって。こんなの。

桜丸

イヤ親人に何御苦勞。これまで馴染む夫婦が仲、所存残らず言い聞かさん。某が主人と申すも、恐れ多き齋世の君様、百姓の倅なれども、菅丞相様の御不憫な加えられ、親人へは御扶持方、御愛樹の梅松、桜、兄弟が名にかたどり、梅王、松王、桜丸、

憚りありや。冥加なや。

烏帽子子になし下され、御恩は上なき築地の勤め、三人のその中に、桜丸が身の幸い、人間の胤ならぬ、竹の園生の御所奉公、下下の下下たる牛飼舎人、勿体なくも身近く召され、菅丞相の姫君と、割なき中の御文使い、仕負うせたが、仇となつてな。讓者の下に御身の浮名、ついには謀反と言ひ立てられ、菅原のお家没落、ハハア。

宮姫君の御安堵を見届け、義心を顯す我が生害、

八重
ねえおとうさん止めて

桜丸
今朝早う早うここまで来て、右の段々お話し申し、生きていられぬ最期の願ひ、聞き届けあつて腹切刀、親の手づから下されたわやい。コリヤ女房ども、

八重
：自分で勝手になんでも決めないでよう

桜丸 我に代わって御礼な申し、死後の孝行頼んだぞや。

八重 いやだ。

桜丸 ……。

八重 そんな事言ったら、あたしにも責任があるのに。

桜丸 ……俺は！

八重 え

桜丸 俺は、俺だけが悪いことにしたい。女房にそんな事を言わせるのは武士じゃない。

八重 ……ちがう

桜丸 自分のことを、自分で決めたい。ここからは、人に決められた事しかできない。それは嫌だ。

八重 ……でも。さ。

桜丸 もっと他に俺になにかできるのかって。ずっと考えてたけど、ない。すべきことがこれだ。俺は、こうやって滅びる。情けないけど。俺には、これが正しい。

八重 ……。

桜丸 桜丸が命惜しまれて、お年寄りの心遣い、御恩も送らず先立つ不孝、お許しなされて下さりませ。下郎ながらも恥を知り、義の為に相果つる。

桜丸、切腹の所作。

さあ、と言う時に八重が止める。

八重 ……もおちよつと……待って。

桜丸は八重の手を取る

八重 ……うん。

桜丸、八重と心中するように切腹

会社員 こんな感じに、桜丸は勿体ねえなって感じに、死ぬ

桜丸が死んだ後。八重がぼんやり。

八重
……っ。

八重は桜丸の刃物で死のうとする。

梅王丸 あ！

梅王丸は八重の腕を掴む。

春は無力に、自分の腕の第一関節を掴んで見るだけ。

八重 離して、死なせて、離せ、しなせろ

……(悲鳴をあげたのち)はなせつつ
ってんだろ、しにたいんだよ、しに
たいの！

梅王丸 ……。

八重の体からストーンと力が抜ける

沈黙

会社員足踏み

春と梅王丸以外、亡霊のように退場

沈黙

○梅王丸の無為な日常風景

会社員の憶測の風景

梅王丸がゴロンと横になる

春が梅王丸の近くで朗らかに座っている

会社員 梅王丸が念願の筑紫の国に着いたの

は。この日から1年と。ん——。

ちよつと？

ね。うける。

京都から九州は、歩いて行っただって

1年もかかんないのに。

これは憶測だけでも。こいつこーや

ってず——と不貞寝してたんじゃないね

ーの？

もっとなったろ、って感じだ。

会社員寝転ぶ

梅王丸、春、会社員のいる停滞した空間

会社員 あ

いや、どうだろ

俺こいつのこと愛しくもないの。

改めてみると。むなくそわるいなーお前。

ハーーーーー。

なにもやってねえじゃん。

(見守るこっちの大事な)時間返せ

……。

会社員は冷ややかに観客を見る。

会社員 あ

たかが物語になにもそんなに。とか思
います。……？

もつとほかにー(情熱注ぐもんがある
だろ)とか

やー(俺にも事情がある)ひまがなくてね

ー。 (それで逆に心が)ひまで？

(会社が)ブラック寄りのグレーで。残業がすつつつこい長……くて。毎日。ミスのリカバリーを、ね。

……いや、俺もバカだからかなあ……。はは。給料も安いのに。こき使いやがって。ふざけん(なよ畜生)あー……。泥が飲み込んでるよーなね(心地がします)。まじで(勤めるなんてことは)、やるもんじゃないの……。毎日。ねー。

会社員が何かパーソナルが垣間見える仕草。

会社員 ……だから。

昔やってたみたいに何かを、誰か。？を愛したいのになあ。探しに行くにも。ね。……。

物語はにせものだけど。好きな時間にふれられる。から、いいのに。いまはなんだろう。

……。

あ

あわれみますか？

こういうことでバランスをとってる人間を。

俺ね、読んで、本を。歌舞伎見たり……

させて、もらって。

物語の中の暖かいを、暖かいに救われないと、なんか、毎日、現実の、逃げ道の少ない、ほの暗い、外、に出かける力が足りなく……。ああ……。みじめ。

○梅王丸は筑紫の国へ行く

梅王丸は春のところに駆け寄ってくる。

梅王丸 はるちゃん！

会社員 え？

春 ん？

梅王丸 みつかった。御台さま。

春 え！……ん？だれ？

梅王丸 御台さまだよ！

春 え！

梅春 ……ヤッター——！

梅王丸 ……うん！

春 ……んー？

梅王丸 俺。筑紫つくしの国に行く。菅丞相さまを
追いかける。

春 え。えー……！！？

梅王丸 俺は許せない。理不尽もいまの状況
もだな。藤原時平の思い通りになって
くこの感じが、気持ち悪い。俺はだ。

春 そ。おか。

梅王丸 せつかく武士にしてもらった。いまの俺
の役目は、これだ。

春 ……うだ、

松王丸 うだってなんだよ。うだ

春 そうだ。だ。

松王丸 そうだってなんだよ。

春 だってダメって言ったっていくじゃんか。

梅王丸 ……。

春 うん？

梅王丸 でも、はるちゃん。この弱音だけ、聞いてくれよな。

春 え？

梅王丸 他になんかあると思う？俺がやることつて、これであってるんだと思う？

春 え？

梅王丸 自信ない。おれ、バカすぎて自分が嫌になる。

春 ……梅ちゃんのする事をあたし、だいすきだ。

梅王丸 でも春ちゃん。俺のせいで桜丸は死んだ。

春 え？…それは、違う、ぞ。

梅王丸 俺が桜の木を折ったから、親父は桜丸を止めなかった。桜丸は、桜の木が折れなかったら。あんなこと。

春 そんなわけ、ないや。よ。

梅王丸 俺の今すべき事したい。けど俺が動く
と人が死ぬ。俺のせいで桜丸は、死ん

だ。

春 ……梅ちゃんは。ずっと。そう思
ってたの？

梅王丸 うん。

春 それは、違うぞ。

梅王丸 ……っ。とか、言ってるの。言っ
てもらってるの。ってまじで男じ
やないと思うわ。俺！行ってきま
す。なかなかの確率で、さような
らだ。

春 ……うん。

梅王丸 行ってきます。

春 ……行ってらっ。さよなら

梅王丸歩き出す。

○筑紫の国に向かう道中

おじさん 山は寒いなあ。

山。梅王丸は働くおじさんや猪とすれ違う
会社員は梅王丸を冷ややかに眺める。

会社員

そこじゃないんだよー……。

なんで、そう。あー……。

……虚しい。行っても行かなくても、

菅丞相は雷になるし(桜丸は)

……あ。この話は、あまり有名じゃない
みたいなんですけど。

菅原伝授手習鑑の100パーセント

悪役の藤原時平を殺すのは。

近い将来に死ぬ八重と、死んだ桜丸
の幽霊。

○時平を倒すのは桜丸

悪い奴らが時平を囲んで歩いている。

幽霊の桜丸と八重登場。

桜丸が時平をあっけなく倒す。

悪い奴ら　　うわああああ！時平さまあああ！

桜丸と八重、かっこいい。

幕が閉まる。

会社員　　なんだよそれってはなしなんすよ！

だからまー。偏見ですけど、いいところ
りは、結果を出せたのは。桜丸。

だからこいつの悩みは空回りなんです。

……ゼーんぶ、偏見ですけどね。

ははは。

あ！

じゃあ松王丸は。どうかと。

桜丸にいいところ取られるのを知らな
い、もう一人の人物、まともで、切な
い、名作、松王丸の名場面の――。
歌舞伎三大名作　菅原伝授手習鑑
の中でも抜群の人気を誇るとゆー。
歌舞伎界にサンゼンと輝く悲しい星、
寺子屋は。こんな話だ。どうぞ！

小太郎　とってんこー！寺子屋始まるよー！

○寺子屋・松王丸の家

松王丸が千代と小太郎と向き合って座っている

千代　いまなんて言ったの……？

松王丸　「武部源蔵の寺子屋に菅秀才がいる」
つていう知らせがあった。「菅秀才の首
と引き換えに、お前に暇を出してやる」
と言われた。俺はその条件を飲むもうと
思う。でも、俺は菅秀才様を守りたい。
だから、小太郎。お前を、菅秀才様の
身代わりとして立てたい。

小太郎　……。

千代　……ねえ。

松王丸　小太郎。わかったか。

千代　……だめです

松王丸　もう決めた。

千代 だって。身代わりって

松王丸 小太郎。どーだ。

小太郎 ……。

松王丸 ……。

小太郎 おう。

松王丸 ……おうか。

小太郎 うん。

松王丸 そうか。

千代 小太郎、こっちにおいで！

千代、小太郎を手繰り寄せる。

松王丸は隣に座る。

千代、小太郎の骨が折れるまで抱きしめる。

千代 ねえ……もっとほかに、手立てはないの

よね……？

松王丸 ……ない。

千代 ……小太郎！

もっと。だよ。もっと。こっちおいで。

小太郎 うん。

3人の中で一晩よりそう。

松王丸去る。

千代は小太郎を抱きしめたまま。

○寺子屋・小太郎出発前

小太郎は千代の腕から顔を出す。

小太郎 母上えー。

千代 ……うん。

小太郎 いこう？

千代 ……そうだね。

千代は小太郎を最後に強く抱きしめる。

千代は寺子屋用の文箱を手にとる。

千代 いこうか！

小太郎 ねえ。

千代 ん？

小太郎 もう一度。ゆっていいー？決めたこと。

千代 うん。

小太郎 んー！寺子屋。つきました。

よろしくお頼もうします。

千代 よろしくお頼み申します だよ。

小太郎 おお。よろしくお頼み！もうしま

す！って言います。

で。んー。菅秀才さまくらい、キ

ヒン？あふるる、顔をして。待ちま

す！

こー？

千代と小太郎、笑い合う。

千代 そうそう。うまいうまい！

小太郎 ふふ。で！首をもらいます！って言わ

れたらハイ。って。こーやって。首を出

します。にゅーって。あとは。待ちます。

おしまい。

千代 ……うん。そう。

小太郎 ばっちり？

千代 うん。

小太郎 もっかい。ぎゅーっしてー。

千代 もっかい。ぎゅーっしてー。

小太郎 母上は、ぼくといってよかった？

千代 すごい、よいよ。

○寺子屋・武部源蔵の苦惱

武部源蔵がおどり出る。

武部源蔵の心象風景。

源蔵 名乗るほどのものでもない！俺は武部

源蔵。

いま、最大のピンチの真っSAICHUだ。

いま、ここは、藤原時平の手下どもに困
まれてしまっている！

くそ、なにが「村人の命惜しくば菅秀才
様の首を差し出せ」だ……！

探せ、俺に今できることを……！

……は！

源蔵、寺子屋の生徒を舐めるように見る

優しく鼻で笑う

源蔵

……うちの寺子屋は田舎の、素朴な感じの子ばかりだなあ。菅丞相さまの代わりに差し出す首にぴったりの子が、だあれも、……いない。なあ。

どうしよううう

……人に仕えるということはあ、つらいこととの連続だあ……するもんじゃないよう

……

小太郎がやってきて座っていた。

源蔵

……ん？

小太郎

こ！た！ろう！です。よろしくお頼み！申します！

源蔵

……ふ。

小太郎 ……。

源蔵 ……ふはあふふん気品……！この「」！

小太郎 こ！た！ろう！です。よろしくお頼、

み！申します！ふふふふふふふ！

源蔵 ……ん——？どうしたんだい、面白

いかい！

小太郎 ううん？

源蔵は小太郎の頭をわしわし撫でる。

源蔵 ……おいで、こっちに！

小太郎 うん！

小太郎、源蔵、幕の奥に去る

○寺子屋・首実検・来訪

松王丸と悪い奴が登場

源蔵登場

悪い奴 武部源蔵お————！！

源蔵 ……。

悪い奴 菅丞相の息子の菅秀才がここにいる

のはわかってんだぞ！大勢の命か、一

人の命か、さあ！天秤にかけろや！

源蔵 ……菅秀才様は、いま奥にいらっしや

る。しばしまたれよ！

悪い奴 ……ふ——ん！？じゃあ、菅秀才の首、

出してもらおうかなー！

源蔵 ……くっ

源蔵が幕に去る

悪い奴 おーこの松王丸は菅秀才の顔をよー

ーく知ってるんだぜー、嘘ついたって無

駄だぞ。な。松王丸

松王丸 ……はい

○寺子屋・奥での小太郎の死

奥。見えない場所。声と音だけが聞こえる。
表。松王丸が座っている。

源蔵 首をもらいます！

小太郎 はい

奥。小太郎の首が落ちる音がひびく。

表。松王丸が俯く。

○寺子屋・首実検

首桶を持った源蔵がやってくる

源蔵 ……さあ。これが菅秀才の首だ。見定

めろ。

松王丸は首実検を行う。

悪い奴 おい松王丸お前だけが知ってたぞ。

よく見ろってんだよ！

松王丸 ……。

源蔵 (苦惱)くそ、松王丸、さんざん菅丞
相さまのお世話になってきたくせに、
裏切り者め！

悪い奴 どうよ。

松王丸 ……若君菅秀才の首に相違ない。
相違ござらぬ、でかした源蔵よく
討ったな

源蔵 ……え！？

松王丸の体が強く傾く。

悪い奴 なんだあー。どうした。

松王丸は咳こむ。

悪い奴 なんだあー。咳か。やだなあ。風邪うつさ
ないでよう。よーし。いくぞ。

悪い奴は首桶を手にもつ。

悪い奴　　おい！武部源蔵、おまえ、忠義忠義って

いっつもほざいてたけど、自分の命が惜しくなったら、あっさり裏切るんだな

命って、信念より大事なものだよなあ！

松王丸、悪い奴、去る

○寺子屋・武部源蔵の苦惱

源蔵　　……やったよー！お母さんやったよ！よ

くわかんないけど！やった！ツシャ！ツシ

ヤ！ツシャー！ツシャー！うまいことUMAIKOTOやった

ぞ！！！！！！

……松王丸の目は腐ってたんだな、菅秀

才様はいま奥に隠れていて、ご存命だ、

守り抜いた……！！

この武部源蔵、恋愛方面の失敗でもはや誰の役にも立てないと泣いていたが、

こんな俺でも菅丞相様のお役に立てて、

……小太郎くん、
……く……れしい

○寺子屋・千代登場

千代　ごめんください。

源蔵　は！

源蔵と千代、対面する。

源蔵　おや、あなたは！

千代　本日よりこちらでお世話になっております、小太郎の母親でございます。

源蔵　……あ。そうですか。

千代　息子の迎えに来たのですが、どちらにいますでしょうか？

源蔵　……奥で遊んでいますよ

千代　あ。そうですか。では、迎えに行ってもよろしいですか？

源蔵　……もちろん、かまいませんよ？

千代　　おーい。こたろう。こたろう。おーい。
こたろう。こたろう。

源蔵、激しく葛藤から暴れる(心象風景)

源蔵　　(苦悩)覚悟を決めろ武部源蔵、だって、
そうだろ……?彼女にも、死んでもらう
しかないんだ……!

源蔵は千代を殺そうと刀を持ちにじり寄る。
千代振り返る。

千代　　……あ(あなたが私を殺そうとするとい
うことは息子は死んだのね)

源蔵　　ひ。
……ハ!!ははははは!

千代　　はは
……こたろう。こたろう。こたろう。

源蔵　　……っ。

源蔵が千代を殺そうとする。

だんまりというかスローモーション

千代、源蔵の刀を文箱で受け止める。

千代 息子は、うまく菅秀才様の身代わりを

果たしましたか？

源蔵 え？

千代 私の息子の首はもう、お役に立ちましたか？

源蔵 え。え。え。

千代 もうですか？まだですか？

源蔵 え？

千代 ……小太郎は、いい子で。ハシカにもかからなかったんです。心配してた分嬉しくて。小太郎は、

千代は頭を抱えて、体に全ての力を入れてただ立っている

松王丸は松に手紙がついたものを投げる

源蔵が手紙を見る

源蔵 ……『梅は飛び桜は枯るる世の中に』

松王丸 『何とて松のつれなかるらん』

女房悦べ、せがれはお役にたったぞ
よ

松王丸は千代のそばに。見つめ合う。

松王丸 ……。

千代 ねえ。小太郎は、いまどこにいるんだろう

千代、うずくまる

源蔵 あの、これはどういう、

○寺子屋・松王丸の苦悩

千代うずくまっている

源蔵と松王丸対面して座っている。

源蔵

松王丸、どののは、つまり。ご自身の息子の小太郎殿を、菅秀才様の身代わりとしておたてになったと。

松王丸

……。

千代はうづくまって動かない。

松王丸

コレ、女房、何ほえる、覚悟したお身代わり、うちで存分ほえたでないか、泣くな泣くなええ泣くなと申すに

いやなに、源蔵どの、申しつけてはおこしましたなれど、定めて最期の節は未練な死を残したでござろう

源蔵

え。あ。……いや。菅秀才の身代わりとして、あなたの首をもらいます。そういいましたら、ハイ、と潔く首を差し出して、

松王丸

エ、スリヤあの逃げ隠れも致さずに
……

源蔵

にっこり笑って

松王丸

……は、ハハハハハハハハハハ（爆笑）あ、
すいませ、

……でかしておりました利巧なやつ立
派なやつ、健気なやつや「このつで
親に代わってお役に立ちしは孝行
者、手柄者よと思うにつけ、

……やめます。かっこつけたかったんす
けど、全然、かっこつかなく（て）

……あー。

こういうのは、俺は（うまくできなくて）
桜丸がなあ。うまくて。チキショー羨ま
しいなって思（てたなそういえば）

千代を見る

松王丸

……もっと泣くの？泣いていい。どんど
んどうぞ。

……俺も。もっと触りたかった。

もっと、かわいがって、甘やかして。こん

なことに巻き込まないで。

こんな俺の、かっこつけのために、死なせなかった。俺は、裏切り者だから。

あ

でも桜丸よりはました。

俺は息子を見殺しにして、だから、あいつより役に立てた。

桜丸はかわいそうだな。俺が殺したよ
うなもので。桜丸ならこんなことでき
(ない)……俺とあいつ、何が違うってい
うんだ。

俺とあいつ、どっちが正しいとか、下ら
ない事のために、俺は何をやってた。

情けない。頑張ってる。もっと頑張れ
る。前に進めない。

情けないって。これか。

青年は松王丸を見つめている。

眺めたのちの、会社員の指の合図で、寺子屋
の場面が終わる。

会社員

もつとあつたらつて。思うけど。

それだけじゃない。こう。なんか。

残る。この、残る、引っ掛かりが、ずっと
時をかけていまもある理由？

……ね。

そう。いいものが残っているのには理由が
ある。「寺子屋」だって「賀の祝い」だって。
比べた上で、なにか強くあるから、残る。

ん——総括。菅原伝授手習鑑は

「信念のために、結果を出せ、努力をし
ろ、それができるなら、奇跡が起きるか
もしれない。ただただ、最善を尽くせ」と
私たちに叱咤激励をする作品、という、
偏見。考察。でした！

は————。これでもういいや！

はい！

俺の偏見の菅原伝授手習鑑に関する
考察は、そろそろおしま

梅王丸登場。

会社員 え。

○筑紫の国への山の中

山の中。梅王丸は倒れる。

会社員 えっ

梅王丸 う————ん

梅王丸はボロボロの体。うつむく。

会社員 ……。

梅王丸 あ！

梅王丸はおにぎりを出す。

のんきに食べ始める。

会社員 ……全然関係ないなあー、おまえ

梅王丸は再び歩き出す

梅王丸を眺める会社員

※これ以降の長い言葉を、自分なりにアレン
ジして、生きた苦惱、生きた日本語のみを

会社員 きつともうすぐ筑紫の国。無駄の旅の

終わりはもうすぐおしまいで、

俺ももうよくわかんない、んです。

…俺の偏見なのに。

こいつは一番、かわいがっても、意味が
ない。

…筋書きに、社会に、貢献がない。

応援しても見返りが、意味がない。

注目してやってるのは、俺くらい。なの
に、ずっとまぬけで弱者で。無駄なこ
とばかりしやがって。って。

思うのに。なんで

社員が苦悩する時間。葛藤の時間。個人にとってだけ大事な時間。

社員 ……それでも！

結局かわいいの。なぜか。少なくとも、俺には。

(悔しいけど)なんでだろ！

あ————あ！

社員は地団駄を踏む。

社員 ……ん。どーせなら。最後に。

こいつが今一番みたいことでもみても
ようかなーって思った！せつかく、こ
な。ね。こんなだし。

まー……(おーかた、どーせ菅丞相の
活躍物語なんだろうなー)

あ！

そうしていいですか？

……勝手にやります！

こいつがあと30歩進んだら。

1、2、3、……。

会社員

菅原伝授手習鑑に関する考察、今度こそおしまいです。

長い間、旅にお付き合い頂きましてありがとうございます。

ちょうどよくさみしい。いい気分だ。おでんでも買って帰ろうとおもいます

……皆さんにもこちいい（さみしさが舞い降りますように）

○ラスト・創作で賀の祝リベンジ

突然暗転

会社員 (同時)えっ!?

梅王丸 (同時)えっ!?

梅松桜と嫁たちと小太郎が「もういい?」「ど

こいるの」などヒソヒソ言いながら舞台上に集

まる

会社員 (同時)えっ!?

梅王丸 (同時)えっ!?

春 せーの

松桜 ばばらー!ー!ー!ー!

会社員 (同時)えっ!?

梅王丸 (同時)えっ!?

松桜 70歳の方は誰ダア?

会社員 (同時)え。

梅王丸 (同時)え。

春 もうひとこえ(小声)

松と桜 70歳のお祝いが大好きな、三つ子の

お父さんは、誰ダア？

会社員 あ？

春 せーの。

カチッと、全員が懐中電灯をつける。

会社員以外 さぷらゝいず！

会社員 ……ん？

松桜 サプライズ。

会社員 ……なんの？

松桜 てめーの70の賀の祝だよ！

会社員 ……なんで？

松王丸 おー言っつてやれ。

梅王丸 ……？

沈黙。

松王丸 なんだよ！？（もっとなんか言うのかと

思ってた待っちゃったよ)

梅王丸 ……70の賀の祝い……？

ちゃんとやれなかった。だから、やり直したかったなっと思ってた。

会社員 ……はあ？

梅王丸 え。そんな事をおオー……ッて考えてたら。さ。……なんだろ！おれにもわからん

会社員 ……はあ。

梅王丸 桜丸、お前帰ってきたんだな！！

八重 わ……！ねえ！丸ちゃんたち！お父

さん！梅の木も、松の木も、桜の木も、満開ですよ！

松王丸 は……？んなわけあるか。

桜丸 時期がバラバラでしょーがよ

千代 いやだってほら

嫁がそれぞれ枝を持っている

松桜 ……ああ？……おお。……おお……！

松王丸 ん? ……折ってきたのかしら?

千代 え? うん。

桜丸 この流れで、すごいことするね ……?

八重 はー? 枝は枝だよ! はい!

梅王丸は顔を上げる。

梅王丸 おい! あつまれ!

家族が全員集合

梅王丸 おやじ。

会社員 ……なんだよ。

梅王丸 あらためて。祝います!

会社員 ……はい。

梅王丸 ……俺達のこと! 男手一つで。で三つ子で、育ててくれて。ありがとう! ございます。面倒もたくさんかけて、ご飯もだいすきで、ごめんなさい。

あ!

……っ。なのに。育ててもらったのに。
もかかわらず！親父には嫁がない、
俺たちには嫁がいる、しかも可愛い。
みじめだったよな、ごめん……！！

会社員 ……。

梅王丸 ん？

会社員 ……お前さ、……くっ。とうあー！

もつと！あつたる！？もつと、さあ！

桜丸 うん

松王丸 まったくだ

梅王丸 だって……！みじめだろ……！！

春 で、で、で、今日は。みんなで、お祝い
のための出し物を用意しました！

千代 いちにつけ……！！

八重 せ……のおっ

フォークダンスのような奇妙な出し物が開催
される

梅王丸は憶測で出し物に参加。

会社員は不思議な光景に佇む。

会社員 ……えっと、これはどういう、あの。

八重 黙って、みんな集中してるから！

会社員 えー。

しばし奇妙な出し物を眺める時間。

会社員 ……んー。

会社員、梅王丸をグツと引っ張る

梅王丸 え！俺おどってるんだっつもの。いま。

会社員 いいから。いうこときけ。できそこない。

梅王丸 えー。はい。

会社員 よくきけ。

梅王丸 うん。

会社員 おい！おちこぼれ。

梅王丸 ……辛辣。

会社員 よくきけって！

梅王丸 なんだよう。

会社員 うん。

梅王丸 ……ん？

会社員 俺がかわいいのは。おまえ。おまえだ。

梅王丸 はー？

会社員 俺だけ。時を超えてもつと超えて、俺だけになっても、そう、言い続けるから！

……お前さあ！聞いてないだろ？！

梅王丸 きーーてるよ

会社員 ぼけ。

梅王丸 ん？

会社員 ……俺、願う。

ずっと。そうならないうってわかってても、お前の幸せを繰り返し、ずーっと、願うから。

梅王丸 ……。

梅王丸、生涯で一番、飛ぶ。

会社員 なに！

梅王丸 飛んだ！嬉しくてっ。

会社員 ……はあ——？

会社員と梅王丸、笑いあう。

懐中電灯を消える。

暗転

おしまい